

健康

HPVワクチン接種は

きちんと普及啓発

田ノ上 令和4年度にHPVワクチンの積極的勧奨が再開されました。同時に、3年間の期間限定でキャッチアップ接種が設けられています。HPVワクチンの効果について伺います。

健康増進課長 子宮頸がんは、若い女性に多いがんで、日本では、毎年約1万1千人がかり、約2900人が亡くな

ります。そのほとんどは、ヒトパピローマウイルス（HPV）感染によるとされ、ワクチン導入により予防効果が示されています。

田ノ上 キャッチアップ接種について伺います。

健康増進課長 令和5年度対象者は、平成9年度から18年度生まれの未接種の方です。



田ノ上真 議員

田ノ上 時間が残されていません。今後、どのように訴えていくか伺います。

町長 一人でも多くの人が接種できるように、きちんと普及啓発していきたいと思えます。

田ノ上 男性へのHPVワクチン接種に関する認識はどうでしょうか。

健康増進課長 男性の健康はもとより、女性にも感染などを防ぐ効果がある認識です。

田ノ上 男性もHPVワクチンを接種することで多くのメリットがありますが、助成についての考えを伺います。

町長 まずは糟屋地区1市7町の議題としてあげてみたいと思えます。

防災

学校体育館にエアコン設置を

近いうちに1、2カ所

田ノ上 学校体育館におけるエアコン設置の必要について伺います。

町長 ここ数年の災害の規模を見てみると、体育館を使った避難をせざるを得ない、体育館にエアコンは必需品です。近いうちに1カ所か2カ所、

その向こうに財政面も見ながら、5校ともやりたい、積極的に取り組んでいきたいと思えます。いつやるかというのは、今後議会に報告します。



映像配信

まちづくり

若い世代が住みたくなる須恵町に

広い視野で政策・事業を展開

白水 若い世代が住みたくなる須恵町について、須恵町に住んで子育てしたい町独自の支援策はありますか。

総務課長 若い世代を対象とした移住促進に類するような事業はしていません。子育て支援の事業は一貫して取り組んでいます。

子どもを産み育てやすい町として発展していくために、どのように考えていますか。

総務課長 子どもの人口は増加傾向で、子どもを支援する政策、事業が評価されていると考えます。今後も、広い視野を持った政策、事業を展開していくことが重要であると考えています。



白水春夫 議員

白水 若い世代に選ばれる町

白水 結婚新生活事業の事業内容を盛り込んだサービスをつくる案は考えていますか。

町長 日頃から若い人たちがのびのびと活躍できる土壌を作っておきたいです。それを考えると結婚相談な

どは単発で終わります。当町には、いろいろな祭りがあります。そこに若い人を引き込んでいく方が、この町の本当の良さがわかってもらえると思えます。

一人で暮らしている高齢者のために

福祉

一人暮らしの高齢者のために

元気に暮らせるための施策に重点

白水 一人暮らしの高齢者が安心して暮らせるように、各行政区における一人暮らしの高齢者の把握は、どのように行っていますか。

白水 孤独死を防止するための新たな見守りの取り組みや強化を伺います。

福祉課長 住民基本台帳から民生委員に各家庭を訪問してもらい状況確認しています。

福祉課長 見守りが必要な高齢者を少なくする、いつまでも元気に暮らせるための施策に重点を置いています。



映像配信

